



12月26日(水)は、海洋教育研修会で、JAMSTEC(海洋研究開発機構)の横須賀本部を見学しました。市内の小中学校教員22名が参加しました。

深海生物のDVD、JAMSTECの概要のDVDを見た後、施設見学へ。運のいいことに、有人潜水調査船「しんかい6500」の実物を見ることができました。しかも、カバーが外れた状態で、内部の様子まで見ることができました。「しんかい6500」の作業時間は8時間と、決められていて、深海まで潜るのに2時間半、浮上するのに2時間半かかり、調査時間は3時間しかないそうです。潜水と浮上は、浮力材とバラスト(おもり)を使って行うそうです。(右の写真参照)



同じ場所には、深海巡航探査機「うらしま」の実物も来ていました。「うらしま」は海底の地形をかなり正確に調査できる探査機だそうです。

続いて、水圧実験室へ。おなじみのブタメンのカップを使った実験では、深海1000mの水圧をかけることによって、カップが小さくなっていきました。(上の写真参照)



岸壁には、「しんかい6500」の母船である「よこすか」が着いていました。この船の救命艇には、60名が乗れるそうです。



最後に、様々な展示がされているスペースで、「しんかい6500」のレプリカの内部に、実際に入る経験もできました。3人乗りなのですが、かなり狭いことも実感したようです。

参加者のアンケートよりその1

- ・海のこと、とても興味がありますが、なかなか行く機会もないため、ゆっくり見学することができて、とても勉強になりました。
- ・ブタメンのカップが、小さくなっていく様子は、ぜひ子どもたちにも話してあげたいな、と思いました。…今日感じたワクワク感や学んだことを、子どもたちに伝えたいと思います。
- ・「しんかい6500」や「うらしま」は、浮力材やバラストを使って、海の中でバランスをとっていること、バラストを電磁石でつけはずししていること、水は本当は押し縮められること、理科や科学のネタもたくさんつまっていて、興味深かったです。
- ・自分たちの身近にある海について、こんなにワクワクな気持ちになったのは初めてでした。

(文責 事務局長 渋谷)